

「南海トラフ地震臨時情報」発表時の学校の対応について

平素は学校教育活動に格別のご支援ご協力をいただきましてありがとうございます。

国の「南海トラフ地震推進基本計画」につきまして、令和元年5月31日に修正され、これを受けて気象庁では「南海トラフ地震臨時情報」（以下、「臨時情報」という。）の運用が開始されています。

このことにより、南海トラフ地震の想定震源域やその周辺でマグニチュード6.8以上の地震が発生した場合や、プレート境界で通常とは異なる動きが観測された場合、気象庁は「臨時情報（調査中）」を発表するとともに、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催して、起こった現象の評価を行い、評価結果に応じて「巨大地震警戒」「巨大地震注意」「調査終了」のいずれかが発表されることになっております。

これらの発表に合わせた学校の対応が下記のとおりとなります。ご承知おきいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

1. 情報発表時のキーワードについて

「南海トラフ地震臨時情報」には次の4つのキーワードがついて発表されます。

- ① 南海トラフ地震臨時情報（**調査中**）
- ② 南海トラフ地震臨時情報（**巨大地震警戒**）
- ③ 南海トラフ地震臨時情報（**巨大地震注意**）
- ④ 南海トラフ地震臨時情報（**調査終了**）

2. 学校の対応について

それぞれの発表で対応が異なりますので以下の通りご確認ください。

キーワード	家にいるとき	学校にいるとき
調査中	(安全上問題なければ)登校します。	平常通りの授業や対応を行います。
巨大地震 警戒	休校 ※基本的に1週間程度の臨時休業	直ちに 授業を中止 し、児童は 学校で待機 します。 原則、 保護者の迎え を待ち、「児童引き渡しカード」に基づいて 速やかに帰宅 してもらいます。
巨大地震 注意	(安全上問題なければ)登校します。 状況により休校となる場合がありますので、学校からのお知らせには気を付けてください。	通常の授業や対応は継続します。 状況により、「児童引き渡しカード」に基づいて保護者のお迎えをお願いすることがあります。
調査終了	これは、臨時情報のうち、「巨大地震注意」「巨大地震警戒」のいずれにも当てはまらない現象と評価されたことを表しています。 学校は、 上記の対応以降（場合により翌日）から、平常通りの授業 を行います。	

※非常時に学校への電話での問い合わせは、混乱を招くため極力お控えいただき、「児童引き渡しカード」に基づいた対応をよろしくようお願いいたします。

このおたよりは、日常生活で見やすいところに貼っておいてください